

【横断的な取組】 地域包括ケアの推進

地域包括ケアについては、(1)地域包括支援センターの機能強化を図ったうえで、圏域ごとの地域ニーズの的確な把握を行いながら、地域や高齢者の実情に応じ、各重点課題に掲げた(2)～(6)の取組を複合的に組み合わせることにより推進します。

《主な施策》全て再掲

(1) 地域包括支援センターの機能強化

地域包括ケアシステムの中核機関と位置付け、ネットワーク構築の推進母体とする地域包括支援センターの体制の充実と機能強化を図ります。

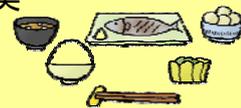
- 302 地域包括支援センターの体制の充実
- 303 地域包括支援センターの質の確保・向上のための取組
- 304 地域包括支援センターの広報の充実
- 316 区役所・支所による地域包括支援センターの活動支援



(2) 生活支援サービス等の充実

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、介護保険等の公的サービスと併せて、ボランティアや地域コミュニティなどによる高齢者への生活支援の重要性が増しており、それらの取組支援を進めることが重要です。

- 101 高齢者どうしや世代を超えた交流ができる身近な居場所づくりの推進
- 123 成年後見制度の利用支援と専門職後見人以外の後見人の確保
- 134 老人福祉員活動の推進
- 135 「一人暮らしお年寄り見守りサポーター」活動の充実
- 319 見守り、配食サービス、買い物支援などインフォーマルサービスを含めた社会資源の情報提供

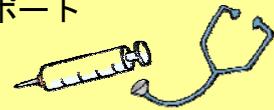


(3) 医療との連携強化

医療ニーズと介護ニーズを併せもつ方に、地域で必要に応じた医療・介護・福祉サービスが提供される体制づくりを進め、中重度の介護が必要なでも地域での暮らしを継続できるよう、医療と介護の連携強化を進めます。

3 1 0 医療と介護の連携を進めるための情報の共有

3 1 2 体調不安時に重症化防止のため一時的な入院をサポート
することで、在宅療養を支援する仕組みづくり



(4) 介護予防の推進

高齢者が要介護状態になることをできる限り予防するとともに、要介護状態になっても状態が悪化しないよう維持・改善を図るため、介護予防サービスを提供します。また活動の場の提供に努め、主体的に健康づくりに取り組めるよう支援します。

2 2 1 2 2 2 地域介護予防推進センターによる介護予防サービスの提供

2 2 8 地域での自主的な健康づくり活動支援

(5) 高齢者が安心して暮らせる住まいづくり

高齢者ができる限り居宅において生活を続けるために、安全で暮らしやすい、高齢者に相応しい住まいづくりや情報提供を進めます。

3 2 8 安心して暮らし続けるためのバリアフリー改修支援

3 2 9 福祉・介護の専門家と建築士との連携による高齢者の状態像に応じた
住宅リフォーム等への支援

3 3 0 サービス付き高齢者向け住宅等の高齢者にふさわしい住まいの整備促進

3 3 2 多様な高齢者向けの住まいについての情報提供

(6) 介護サービスの充実

近時の要介護高齢者の状態像や取り巻く環境の変化を踏まえて、できる限り生活の場を変えることなく、安心して暮らし続けられるよう、24時間365日の支援体制を充実していきます。

4 0 1 重度者をはじめとする要介護高齢者の在宅生活を支えるための居宅系
サービスの充実

4 0 2 地域に根ざした小規模な施設・事業所を中心とした、施設・居住系
サービスの整備促進等



地域包括ケアが機能している姿

事例1 花さん（75歳）女性

- ・ ひとり暮らし
- ・ 要介護認定は受けていない
- ・ 家の中で転んだ後、足腰に痛みがあり、新聞をポストに取りに行くことが億劫に
- ・ ポストにたまった新聞を見つけたひとり暮らしお年寄り見守りサポーターが、地域包括支援センターに相談

- ・ 地域包括支援センターの職員が花さんの自宅を訪問し、状況を確認
- ・ 地域包括支援センターの勧めにより、近隣の医院を受診
- ・ 医師から、筋力低下が見られるので、介護予防教室への参加や外出の機会を増やすなどの取組を勧められる

地域包括ケアにより、住み慣れた地域での生活をサポート！

- **医療**
 - ・ かかりつけ医が必要な治療を行うとともに、花さんの支援に必要な医療的な情報を、花さんの同意を得て、関係機関に提供
- **介護予防**
 - ・ 地域介護予防推進センターが実施する介護予防教室への参加
 - ・ 地域の学区で開催される健康すこやか学級への参加
 - ・ 近所のまちの居場所に出かけ、さまざまな世代の方との交流
 - ・ 老人福祉センターで開催される趣味のサークルへの参加
- **住まい**
 - ・ 京都市介護予防安心住まい推進事業を利用した住宅改修
- **生活支援サービス**
 - ・ 一人暮らしお年寄り見守りサポーターや老人福祉員による見守り



事例2 良夫さん（82歳）男性

- ・ ひとり暮らし
- ・ 隣の市に息子一家が居住
- ・ 自宅で介護サービスを利用して生活していたが、脳梗塞を発症し、入院
- ・ 治療が落ち着いた段階で、病院を退院し、リハビリ目的に介護老人保健施設に入所
- ・ 新しい出来事を忘れるなどの認知症の症状があり、入浴や移動などに介助が必要
- ・ 要介護度は3

- ・ 入所中の老人保健施設からは、介護サービスを利用するなら、在宅で生活することも可能だと言われる
- ・ 良夫さんは、自宅での生活を強く希望
- ・ 良夫さんの息子は、良夫さんのひとり暮らしを不安に思い、以前、新聞で存在を知った、高齢者に関する相談窓口である地域包括支援センターに相談
- ・ 良夫さんの息子は、地域包括支援センターの職員から要介護の状態であっても様々な支援を受けてひとり暮らしを続けている事例を聞き、良夫さんが自宅での生活を再開させることに同意

地域包括ケアにより、住み慣れた地域での生活をサポート！

- **医療**
 - ・ かかりつけ医による訪問診療
 - ・ 複合型サービス（訪問看護）による健康状態の確認
- **介護**
 - ・ 複合型サービス（小規模多機能型居宅介護）による、訪問、通所、短期入所を組み合わせた介護の利用
- **住まい**
 - ・ 介護保険を利用した住宅改修の実施（段差の解消、手すりの設置など）
- **生活支援サービス**
 - ・ 配食サービスの利用
 - ・ 老人福祉員による見守り

